

特別展

新館開館一周年記念

ガンダーラ

— 仏像のふるさと —



Gandhara



会期延長

2009年7月5日^{SUN} ~
2010年3月14日^{SUN}

冬期も
開館
します!

※会期中、下記の日程および毎週火曜日は休館します。
※2009年12月28日(月)~31日(木)

当館は2004年に開館して以来、毎年、年に2回シルクロードをテーマとした様々な企画展を開催してまいりましたが、昨年の2008年夏には新館がオープンし、展示室の拡張を行い、施設の充実をはかりました。今夏より、新館開館の1周年記念企画として特別展『ガンダーラ—仏像のふるさと—』を開催いたしております。

ガンダーラ、それは釈迦をはじめて人の姿で表した仏像誕生の地です。ここで生まれた仏陀像、弥勒菩薩像、鬼子母神像など尊像と、仏陀の生涯を表した浮彫、この時代に生きた人びとの姿と文化を世界に名だたる平山コレクションで展覧しております。

● 新年は1月1日から開館します!!

ご家族、ご親戚、ご友人と連れ立って、
お正月を美術館で過ごしてみませんか?

当館は寒冷地ということもあり、例年12月半ばから翌3月上旬にかけて閉館しておりましたが、この度『ガンダーラ—仏像のふるさと—』展の好評につき、美術館開館日の拡大を決定いたしました。これをもちましてほぼ通年の開催になります。夏秋に本展を見逃された方も、この機会にぜひ足をお運びください。

オープニングでは白倉北杜市長にご挨拶をいただきました

3回シリーズ講演

- 8月8日(土) 宮治昭(静岡県立美術館館長、龍谷大学特任教授)「ガンダーラ 仏像のふるさと」終了しました。
- 9月5日(土) 田辺勝美(中央大学教授)「ガンダーラの仏教美術における現世利益と来世利益をめぐって」終了しました。
- 10月17日(土) 小泉恵英(東京国立博物館主任研究員)「ガンダーラの仏教寺院」

Report

第1回平山郁夫絵画教室の開催

(2009年5月27日、於キープ協会)

主催 財団法人平山郁夫シルクロード美術館
後援 北杜市、北杜市教育委員会
財団法人KEEP協会

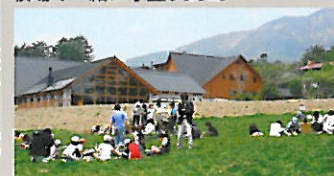
「子どもたちに絵を描く楽しみを伝えたい」——そうした平山画伯の強い想いから、キープ協会の協力のもと、地元の小学生を対象に絵画教室を開催いたしました。平山画伯の講話を聞いた後、「よく観察して描くこと」それだけを約束して子どもたちは牧草地で自由に花の絵を描きました。平山画伯の指導を直接受け、また画伯が制作する様子を目の当たりにした経験は、子どもたちの一生の宝物になったことと思います。



まず平山画伯から子どもたちへお話がありました



牧場で一緒に写真しました



平山郁夫シルクロード美術館ニュース

No.

09

平成21年
10月1日発行



平山郁夫「祈りの行進・聖地ルルド・フランス」2008年
再興第93回展出品作品

奇跡の泉 ルルドのこと 平山郁夫『祈りの行進・聖地ルルド・フランス』に寄せて

館長 平山美知子

私が小学校から通った学校はカソリックのミッションスクールだったので、校庭の端にルルドの洞窟の模型があり、中にマリヤ様の像が置かれていました。ですからルルドの水のおかげで病気が治ったとか、歩けなかった人が歩けるようになったという奇跡の話も、よく聞かされていました。

私事になりますが、私の両親も、三人の兄たちも、ルルドの水の事を考える余裕もなく見送ってしまいました。そして一番あとに残った妹の病気の事を知らされたのは、あと二ヶ月の命の時でした。妹はいよいよ苦しくなると、念願していたホスピスに

入りました。やがて水も喉を通らなくなった時、友人よりルルドの水を少しいただき、それが何の苦もなく喉を通ったのです。その時私はルルドに水をとりについでにゆこうと思いましたが、ただその時は、ルルドはフランスのピレネー山脈の中腹にあり十一月は寒さで水も凍ってしまつたため汲んでくる事は出来ないし、妹の命もあと数日という事で、ルルドにゆく事を諦めざるをえませんでした。しかし、バりにルルドの水を余蓄している修道院があることを教えていただき、多くの人の御厚意でそれを入手する事が出来ました。妹は最後の数日はそ

の水を口にする事が出来たのです。

妹の死後も一度はルルドに行つてみたいと思つておりましたが、その後ようやく娘や姪や友人とルルドへゆく事が出来ました。ルルドには多くの病人が集まつていました。そしてその人達を助けるボランティアの人達も沢山います。私達は週末や祝日を避けて行つたにもかかわらず、大勢の人が集っていました。

夕闇が迫り、薄暗くなると、ルルドの洞窟のそばに建つ聖堂の前に、大勢の人々が蠟燭を手に集ってきました。誰が指導するでもないのに、マイクで賛美歌が流れる

と、人々はそれに唱和しながら自然とマリヤ行進が始まるのです。行進は聖堂の前から始まり、細長い広場を一周し、再び聖堂の前に集まると神父様の短い説教が行われ、それが終わると群衆は自然解散するのです。心は不思議に満たされていて、外国の御婦人方と手をとったり、抱きあつたりしてそれぞれの言葉で感謝し合つたのです。このような人々が集つていたら、この世に戦争は無いのだと思いました。ルルドはやさしい町で、これまでに三度ゆきました。平山も勿論この行列に加わつたのです。

Collection

コレクション紹介 —カシミールショール—

当館のコレクションの中でも多くの名品を有するカシミールショール。その繊細な織物は、はじめはもっぱらインドの王侯が用い、19世紀には輸出されてヨーロッパで爆発的な人気を呼びました。素材であるカシミア山羊の毛は他の繊維に比べ、非常に柔らかく光沢があり、軽くて保温性に優れています。文様は可憐な草花文から複雑なペイズリーに変貌を遂げ、やがて複雑怪奇な文様へと変遷していきます。織りの複雑さは裏を返してみるとよく分かります。恐ろしく細かい作業は、熟練した男性の織り手によってなされました。

(特別展「カシミールショール 変化するペイズリー文様」(2010年3月20日～5月31日) 展示予定)



講演会

当館では展覧会の理解を深める一助として特別展ごとに関連講演会を開催しております。前期では「豊饒なる色彩 ウズベキスタンの布と器」展にともない、元ウズベキスタン共和国大使の孫崎亨氏（2009年4月25日開催）、文化女子大学名誉教授の道明三保子氏（同5月30日）のおふた方にご講演いただきました。日本では馴染みが薄い中央アジアの陶芸および染織の魅力と歴史について、大変興味深くお話をいただきました。

■バリ島の舞踊と

■ガムラン音楽コンサート (8月9日開催)



バリ島より人気実力No.1のガムラン芸能集団から精鋭メンバーが来日、日本でNo.1のガムラン芸能集団ウロツテノヤ子と競演しました。ガムラン演奏と舞踊の合間には演者による説明が加わり、声のガムランとも呼ばれるケチャには観客も実際に参加してもらいました。

らくだ屋上公園はバリの雰囲気に包まれました

■体験教室

◎組紐体験教室（5月31日開催）



組紐の奥深さについて語る講師の道明三保子先生

ウズベキスタンの華やかな布や衣装の配色を取り入れて「奈良組」による組紐ストラップを作りました。初めての体験に、参加者は興味津々で取り組みました。

◎染色体験教室

（5月23日「チートルと茜で春の色を染めよう」）
（6月20日「紫根染めに挑戦」）
（8月22日「藍の生葉で絞り染めに挑戦」）



■子どものための

ワークショップ

今年から青少年ボランティア4名のご協力のもと、子どものための体験イベントを開催しております。ユニークな発想で実現した年間5回のワークショップです。



◎GW企画

シルクロードの民族衣装って？
～着たり作ったり～（5月2日）
展示中のウズベキスタンの服を参考に、大胆な衣装を作りました！



うちわや色紙に絵を描こう（7月28日）
とても大胆でとてもカラフルなうちわを作りました。



◎夏休み企画 藍の生葉で絞り染めに挑戦！（8月22日）

夏の空を映したかのような爽やかな藍色に絞り染めでユニークな模様をつけました。



粘土で聖なるカップ「リュトン」を作ろう（8月4日）
自由な発想で素敵なリュトンを作りました。

民族衣装体験コーナー 大人気!!

今春から2階ラウンジに設置した民族衣装体験コーナーは、いま美術館の一番の人気スポットです。衣装を身に着け、らくだの前で写真を撮れば、心は遠くシルクロードに・・・!?インドの民族衣装サリーも夏から新登場!皆さんも一度挑戦してみてください。

第1回 絵手紙コンテストを開催しました

新館開館1周年を記念して、小学生から高齢者まで気軽に美術に接することのできる絵手紙のコンテストを実施しました。美術館やハケ岳の自然を大切な人に紹介する作品は、ユニークなものから見事なものまで328点が集まりました。入賞作については10月に表彰式を行い、美術館内での展示を予定しております。



賛助会活動報告

交歓会を開催しました!

5月27日、賛助会員とその同伴者総勢42名が、美術館にて平山画伯と美知子館長との交歓会に出席、欲談の後、記念撮影、さらには平山画伯による自作の解説などがあり、充実したひと時を持つことができました。

さらに今回の交歓会では、周辺の観光地もバスにて訪ね、清里の萌木の村では美しいアンティークオルゴールの音に耳を傾け、高原の食材をふんだんに使ったランチをとともにするなど、会員それぞれに楽しんでいただくことができました。

賛助会では更なる企画の充実を考えております。併せて、
新入会員も随時募集しております。詳しくは、美術館事務局
までお問い合わせください。

海外調査研究の支援

賛助会の会費の一部は、当美術館が行っている、若手研究者による海外調査研究の助成金として活用され、大変感謝されております。

海外調査研究を支援しています

財団法人平山郁夫シルクロード美術館は国際交流の一環として、シルクロードやアジア諸国の美術に関する海外調査研究を支援するため、若手研究者や保存修復の専門家の調査研究に対して助成事業を行っています。

本年度(平成21年度)は下記2名の調査研究に助成を決定しました。

常木 麻衣

国士舘大学大学院グローバルアジア研究科 博士後期課程
「アナトリアの中期青銅器時代における青銅製品の考古学的研究」

栗原麻那美

青山学院大学大学院文学研究科 博士前期課程
「アンコール美術における女性菩薩像に関する調査研究」

毎年5月末日に締め切り、7月中に助成金支給を予定しております。皆様の応募をお待ちしております。

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

<http://www.silkroad-museum.jp/international/index.html>



スケジュール

2009~2010

後期

●…は閉館日、●…は一部閉館です

10 OCTOBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 NOVEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 DECEMBER

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1 JANUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2 FEBRUARY

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3 MARCH

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

 特別展「ガンダラー 一仏像のふるさと」
 子どもワークショップ
 特別展「カシミールシュール」
 イベント
 講演会

*10/13…コンサート、10/17…講演会
 染色体験教室、10/25…ワークショップ
 *明示した期間外は展示替えのため休館します。

*11/20…県民の日につき県民は無料

2010 展覧会案内(予定)

『ガンダーラ—仏像のふるさと—』

2009年7月5日(日)～2010年3月14日(日)(12月28日～31日は休館します)

『カシミールショール 変化するペイズリー文様』

2010年3月21日(日)~5月31日(月)

『平山郁夫シルクロード美術館名品展(仮称)』

2010年6月3日(木)~7月12日(月)

『シルクロード 奈良への道 平山郁夫展』

2010年7月18日(日)~8月22日(日)

『大ペルシア展(仮称)』

2010年8月28日(土)～



新スタッフ紹介

本年4月より財団に加わりました大塚裕一です。専門は日本仏教美術史。主に平安時代後期を研究していて、当時の代表作例である平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像は好きな作品の一つです。これからは今までの研究経験を活かしながら、当館コレクションなどに向かい合いたいと思います。

県内小中学校321校に子ども向け資料を配布しました

世界で紛争が絶えない中、文化財を守ること、次代に人類の遺産を引き継ぐことこそ平和につながるかと訴える平山画伯。当財団は社会的存在であることを自覚し、地域の文化協力のみならず、広く青少年の学校教育、学習活動への協力を重要な活動方針としております。

そのような活動の一環として、このたび当財団では、青少年がシルクロード文化に触れる機会を増やすことを目的に『ジュニア版ブックレット シルクロードの旅』、およびDVD『絵を描く楽しさを伝えたい』、『平山郁夫とシルクロード』を制作し、山梨県内のすべての小中学校に配布いたしました。子どもたちが当美術館を身近に感じるよう、また美術品や文化の理解への手助けになるよう願っております。



財団法人
早山有次シルクロード美術館

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第9号 平成21年10月1日発行

発行 財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225
URL <http://www.silkroad-museum.jp>